

舞鶴引揚記念館・京都府立東舞鶴高校協働事業
英語版引き揚げ紙芝居『シベリアからやって来たクロ』の完成・公開について
～3月20日(土)から引揚記念館HPで、公開します～

舞鶴引揚記念館では収蔵資料のユネスコ世界記憶遺産登録を契機として、引き揚げ及びシベリア抑留の史実や平和の願いを国内外に広く発信するため、海外の関係都市との調査・交流や「ICOM(国際博物館会議)京都大会2019」関連事業などを通じて海外への発信にも積極的に取り組んでいます。

この度、海外発信の取り組みの一環として、京都府立東舞鶴高校(校長 塩尻徹)と連携し作成を進めており、2月9日(火)に録音作業を行いました英語版引き揚げ紙芝居『シベリアからやって来たクロ』が完成し、3月20日(土)から引揚記念館ホームページで公開しますのでお知らせします。

英語版引き揚げ紙芝居「シベリアからやって来たクロ」の概要

当該紙芝居は、シベリアからの最終引揚船で、舞鶴に引き揚げてきた犬のクロの実話をもとに、平成28年に東舞鶴高等学校が引き揚げの史実の語り継ぎ事業の一つとして制作されたものを、ユネスコ世界記憶遺産登録5周年を機に英語版を制作することにより、引き揚げ及びシベリア抑留の史実の海外発信に取り組むもの。舞鶴引揚記念館、京都府立東舞鶴高校の協働事業(紙芝居の絵は、平成28年に制作したものを使用します)

- ・英語版制作参加者・・・東舞鶴高校令和2年度2年生35名
(代表10名で英語ナレーションを収録)
- ・公開日……………令和3年3月20日(土)午前10時
舞鶴引揚記念館ホームページで公開します。

引揚記念館
ホームページ



《シベリアからやって来たクロ》

シベリアの収容所で日本人の抑留者が飼っていたメスの犬のことです。全身が黒かったためクロという名前がつけられました。とても人なつこくて抑留者たちからはとても可愛がられていました。昭和31年(1956)12月24日早朝、シベリアからの最後の引揚船がナホトカ港を出発すると船を追いかけるように、流水ただよう海へクロが飛び込みました。その後、船に乗せられ、シベリアで一緒に生活した仲間として日本へとやってきました



【お問い合わせ先】

舞鶴引揚記念館：☎0773-68-0836、FAX0773-68-0370
E-Mail：hikiage@city.maizuru.lg.jp

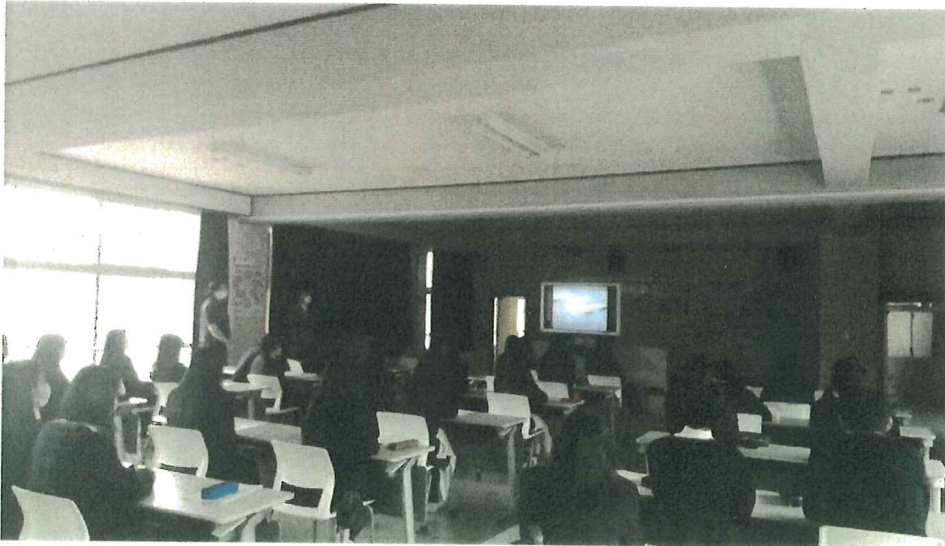


【参考】

令和3年3月12日

当該英語版紙芝居の視聴の様子

(録音作業に参加した生徒を含む東舞鶴高校令和2年度2年生)



平成28年10月

ユネスコ世界記憶遺産登録1周年記念フォーラムで紙芝居を英語で披露する
東舞鶴高校 ESS 部



【お問い合わせ先】

舞鶴引揚記念館：☎0773-68-0836、FAX0773-68-0370
E-Mail：hikiage@city.maizuru.lg.jp

